

道徳だより

テーマ： What's 道徳研究会 ?



令和6年9月
京都市立道徳教育研究会
広報部
(第4号)

育成 部会

部会のテーマ

部長 宮田 勝行 (鳳徳小)

「障がいのある子どもたちのニーズに合った道徳教育のあり方」

育成学級は、児童の発達や特性に違いがあるので、それぞれの学級に応じた指導・支援を実践しています。そのため教科書の教材だけで授業を行うのが難しい事が多いです。そこで、部会のメンバーが授業力を高めていけるように、日々の道徳の授業での悩み、工夫していること、おすすめの教材などを部会や Teams を活用して交流し、指導の幅を広げることを行っていきます。次回の部会では、11月の研究発表に向けた指導案の検討を行います。育成学級の子どもたち1人1人が輝く道徳の授業をみんなで考えていきませんか？

ご参加お待ちしております！

【文責 白井 隆 (花背小中学校)】

部会のテーマ

部長 安藤 友里 (桃山南小)

一人一人の子どもの思いを引き出す授業づくり

～道徳的価値に向かって、誰もが自由に交流し合える部会を目指して～

低学年部会では、昨年度に引き続き、今年度も「一人一人の子どもの思いを引き出す授業づくり～道徳的価値に向かって、誰もが自由に交流し合える部会を目指して～」をテーマに取り組んでいます。低学年の子どもたちは、「自分の思いをもっと伝えたい。」「聞いてほしいという思い」に溢れています。しかし、そのような中でも、自分の思いをなかなか表出できない子や、授業に参加することが難しい子、教材理解に時間がかかる子たちも、みなさんのクラスにはいるのではないのでしょうか。発言できる子どもだけで授業を進めていくのではなく、子どもたちみんなの思いや考えをそれぞれのかたちで表出できるような場の設定も大切

にしたいと考えています。今日まで部会を3回行いましたが、たくさんの先生方が参加してくださっています。また、オンラインでも日頃の板書交流や悩み交流もしています。子どもだけでなく、私たち教師も一緒に道徳の授業を楽しみませんか？初めての方も、途中参加も大ウェルカムです。

一緒に勉強していきましょう♪

低学年 部会

本研究会は、育成部会、低学年部会、中学年部会、高学年部会の4つに分かれて活動しています。教具や指導技術の交流、お悩み相談や授業・指導案検討など、明日の授業につながる取組が充実しています。総合教育センターで集まることが多いですが、オンラインで参加する先生方もたくさんいらっしゃいます。興味がおありの方はぜひ一度ご参加ください。【編集 保本 貴之（西陣中央小）】

研究会HPはこちら→



部会のテーマ

部長 神山 庄太（太秦小）

中学年部会

プラス思考で進める納得と発見のある魅力的な道徳授業

中学年部会では、「ないものを身に付けさせよう」というマイナス思考ではなく、「豊かな心がどの子にも育ってきている」というプラス思考で授業を組み立てることを研究の基本としました。

そして、子どもたちの力を信じ、引き出し、子どもたちの内側から「納得」と「発見」があるような授業づくりを目指しています。

また、子どもたちの目が輝き、「おおっ!」「なるほど!」という言葉が出てくる納得や発見のある授業は、子どもたちにとっても魅力的であると同時に、教師にとっても魅力的で楽しい授業です。分かり切ったことを言わせたり書かせたりするのではなく、先生も子どもたちと一緒に考え、楽しんで授業できるような授業研究を進めていきたいと思えます。

部会のテーマ

部長 大平 龍之介（御室小）

「子どもと創る道徳授業 ～自ら考えたくなる、話したくなる、実践したくなる～」

今年度は、子どもが授業を創っていきけるような授業づくりを目指します。授業の中で子どもが考えたい、話したい、そして、今後の生活の中で実践したいという思いにつながるような授業づくりの展開を理想とします。話したくなる、考えたくなるためには、教師自身が子どもに投げかける「めあて」や「教材」での問いを大切にします。子どもが問いを考えだせるようになり、子ども主体で授業を創っていきけるようにします。話したくなる、考えたくなる授業の展開が深まれば、実践していききたいという思いを強くもつはずです。そして、自己を見つめる（過去の自分、今の自分、今後の自分）振り返りの時間の確保、メタ認知の力を育むことも大切にしていきます。

研究大会に向けて高学年としての中心となる研究教材の内容項目は「D よりよく生きる喜び」に決まりました。着地点が難しい内容項目ですが、研究会のメンバーと一緒に考えを深めましょう。

高学年部会